

別記第1号の2様式（介護職員初任者研修課程関係）

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通信）

事業者名：社会福祉法人三鷹市社会福祉事業団

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画			
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数			実施内容
1 職務の理解	6 時間	1 職務の理解	6 時間	1 職務の理解	
			通学	通信	合計
(1) 多様なサービスの理解		(1) 同左	2.5		2.5
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 同左	3.5		3.5
					(1) 講義のみ
					(2) 講義及び演習（介護現場紹介動画を視聴し、印象に残った場面や感想を各自発表する）
2 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援	9 時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援	
			通学	通信	合計
(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 同左	1.5	3	4.5
(2) 自立に向けた介護		(2) 同左	0	4.5	4.5
					講義及び演習（身体拘束事例をもとに、本人の尊厳について考え、拘束しない介護の工夫を話し合う）及び通信講習
					(2) 通信講習のみ
3 介護の基本	6 時間	3 介護の基本	6 時間	3 介護の基本	
			通学	通信	合計
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 同左	1.5	0.5	2
(2) 介護職の職業倫理		(2) 同左	0	1	1
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 同左	1	1	2
(4) 介護職の安全		(4) 同左	0.5	0.5	1
					(1) 講義及び通信講習
					(2) 通信講習のみ
					(3) 講義、演習（事例を示し、事故予防・感染対策についてグループで話し合い、発表する）及び通信講習
					(4) 講義及び通信講習

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9 時間		4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9 時間				4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	
			通学	通信	合計		
(1) 介護保険制度		(1) 同左	1.5	1.5	3	(1) 講義、演習(要介護認定の手順等をワークシートにまとめる)、通信講習	
(2) 障害福祉制度及びその他制度		(2) 同左	0	3	3	(2) 通信講習のみ	
(3) 医療との連携とリハビリテーション		(3) 同左	0	3	3	(3) 通信講習のみ	
5 介護におけるコミュニケーション技術 6 時間		5 介護におけるコミュニケーション技術 6 時間				5 介護におけるコミュニケーション技術	
			通学	通信	合計		
(1) 介護におけるコミュニケーション		(1) 同左	2	1	3	講義、演習(利用者と介護職に分かれてロールプレイを行い、非言語チャンネルや共感について体験する)及び通信講習	
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		(2) 同左	1	2	3	(2) 講義及び通信講習	
6 老化の理解 6 時間		6 老化の理解 6 時間				6 老化の理解	
			通学	通信	合計		
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常		(1) 同左	1.5	1.5	3	講義及び演習(高齢者疑似体験用具で身体老化を疑似体験し、グループで日常生活で影響する場面を考え発表する。)及び通信講習	
(2) 高齢者と健康		(2) 同左	1.5	1.5	3	(2) 講義及び通信講習	
7 認知症の理解 6 時間		7 認知症の理解 6 時間				7 認知症の理解	
			通学	通信	合計		
(1) 認知症を取り巻く状況		(1) 同左	1	1	2	(1) 講義、演習(認知症当事者の言葉を読み、感想を言い合う)及び通信講習	
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		(2) 同左	1	0.5	1.5	(2) 講義及び通信講習	

(3) 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	(3) 同左	0.5	1	1.5	(3) 講義及、演習(具体的な事例への対応についてワークを行い、発表する)及び通信講習
(4) 家族への支援	(4) 同左	0.5	0.5	1	(4) 講義及び通信講習
8 障害の理解 3 時間	8 障害の理解 3 時間	8 障害の理解	3 時間	8 障害の理解	8 障害の理解
		通学	通信	合計	
(1) 障害の基礎的理解	(1) 同左	0.5	0.5	1	(1) 講義及び通信講習
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	(2) 同左	0.5	0.5	1	(2) 講義及び通信講習
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	(3) 同左	0.5	0.5	1	講義及、演習(障害の受容と介護職に求められる対応について、事例に基づきグループで話し合う)及び通信講習
9 こころとからだのしくみと生活支援技術 75 時間	9 こころとからだのしくみと生活支援技術 75 時間	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	75 時間	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	9 こころとからだのしくみと生活支援技術
ア 基本知識の学習 10~13時間	ア 基本知識の学習 10 時間	ア 基本知識の学習	10 時間	ア 基本知識の学習	ア 基本知識の学習
		通学	通信	合計	
(1) 介護の基本的な考え方	(1) 同左	1.5	0	1.5	(1) 講義のみ
(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	(2) 同左	0.5	1	1.5	(2) 講義及び通信講習
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	(3) 同左	4	3	7	(3) 講義及び通信講習
イ 生活支援技術の講義・演習 50~55時間	イ 生活支援技術の講義・演習 55 時間	イ 生活支援技術の講義・演習	55 時間	イ 生活支援技術の講義・演習	イ 生活支援技術の講義・演習
		通学	通信	合計	
(4) 生活と家事	(4) 同左	2	3	5	(4) 講義及、実技演習(限られた食材でのメニュー作り)及び通信講習
(5) 快適な居住環境整備と介護	(5) 同左	3	2	5	(5) 講義、実技演習(福祉用具の具体的な使用方法)及び通信講習

(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	
(実習)* (50～55時間中12時間以内)	
介護実習 ○時間	
ホームヘルプサービス同行訪問 ○時間	
在宅サービス提供現場見学 ○時間	
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	
(13) 介護過程の基礎的理解	

(6) 同左	6	0	6
(7) 同左	12	0	12
(8) 同左	6	0	6
(9) 同左	6	0	6
(10) 同左	6	0	6
(11) 同左	3	1	4
(12) 同左	3	2	5
(実習)*	0 時間		
ウ 生活支援技術演習	10 時間		
	通学	通信	合計
(13) 同左	3.5	0	3.5

(6) 講義及び実技演習(座位保持不可の利用者の衣類着脱)
(7) 講義及び実技演習(全面介助でのベッド～車椅子～トイレへの移動・移乗)
(8) 講義及び実技演習(介護食調理、食事介助及び口腔ケア)
(9) 講義及び実技演習(浴室での介助のロールプレイング及びベッドでの洗髪)
(10) 講義及び実技演習(トイレ介助のロールプレイング及びオムツ着脱)
(11) 講義及び実技演習(シーツ交換等のベッドメイキングや褥瘡予防体位変換)及び通信講習
(12) 講義及び通信講習
(実習)*
実施しない
〃
〃
ウ 生活支援技術演習
(13) 講義及び実技演習(事例に基づき個別援助計画の作成演習を行う)

(14) 総合生活支援技術演習	(14) 同左	6.5	0	6.5	(14) 講義及び実技演習(2つの事例に基づき一連の介護技術を行い、技術習得度の評価を受ける)
10 振り返り	10 振り返り	4 時間			10 振り返り
		通学	通信	合計	
(1) 振り返り	(1) 同左	3	0	3	(1) 講義及び演習(研修を通じて学んだこと、今後も実践を通じて学ぶべきことを考え、発表する)
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2) 同左	1	0	1	(2) 講義のみ
追加カリキュラム					
計 (130 時間)	計 (130 時間)				

※「9 ところとからだのしくみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。